

日中友好新聞

府連通信

2014年2月号
日本中国友好協会大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:jcfa@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/

講演会

アジア力の世紀―どう生き抜くのか

進藤教授がアジア地域統合の動きを解明

二月二日「国際親善・平和友好政治経済学、アメリカ外交の専好のつどい」を開催しました。門家である進藤榮一筑波大名譽この講演会は、日本をとりまく教授に、今後の日本のとるべき諸情勢、とりわけアジアで起こっている情勢を学び、それぞれの活動の活性化を図ってということと存、連携の重要性を講演していただきしました。

講師には岩波書店「アジア力」の世紀―どう生き抜くのかの著者で、アジア地域統合、国際したあたらしい時代が来た」と

進藤榮一著

「アジア力の世紀」紹介 TPPと中国脅威論のウソを暴く

かつて欧米植民地主義の暴虐に抗して「アジアは一つ」を謳った「東洋の告知者」岡倉天心が死して百年、いまグローバル化の疾風が吹き荒れる中にあって、ポスト・グローバル化に向けて、もう一つのアジアをつくることが台頭している。

アジアが領土問題と歴史問題で争い合っているにもかかわらず、その底流には、近代以降、

話され、「TPPが難産の危機にあえいでおり、東アジア共同体形成の動きが進んでいる」と強調されました。

さらに「19世紀の産業革命は各国が軍事力によって、領土を拡大し資源を収奪するテリトリー・ゲームを展開しパクス・ブリタニカの世紀を、20世紀の工業革命は大量生産、大量消費、大量廃棄するプロダクション・ゲームを基軸に、パクス・アメリカーナの世紀を、21世紀は第三の産業革命として情報

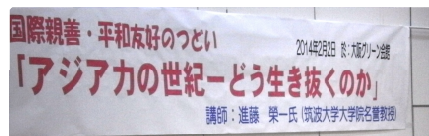
「中国をもっと知ろう」

三月に中国百科検定試験



「中国をもっと知ろう」と知ってもらおうため「中国百科検定」試験を、三月二日（金・祝日）、関西大学・天六学舎で行ないます。

そのため、公式テキスト「中国百科」2800円を発売しました。中国を知るため手軽な「百科事典」でもあ



講演する
進藤榮一教授と会場

日中友好 春のつどい

日時：2月23日(日)14:00～(要予約)

会場：興隆園(地下鉄谷町6丁目④出口南へすぐ)

参加費：飲める人4,000円、飲めない人3,000円

毛幹霖さんのバイオリン演奏や、太極拳の表演、胡弓演奏、中国語のひとことスピーチなど、みんなで楽しいひと時を送りましょう。さそいあってお越しください。

西支部企画 平和を求めて中・ロ国境へ

日時：5/9(金)～14(水)

旅行費用：168,000円(10名以上参加の場合)

申込締切：4月25日(金)

(旅程)関空発仁川經由ハルピンへ～方正にて残留孤児又は婦人との交流～佳木斯・長谷川テルの墓(市内の烈士陵园)見学～国境の町綏芬河～牡丹江見学～長春市内見学～仁川經由関空へ

国有と社会的所有とのちがい？

定例研究会「中国の体制を考える」③

一月十九日の第三回研究会は渡辺会長はじめ十二名が出席して開催され、西脇義彦さんが「大谷積之介『現存社会主義は社会主義か』」の論旨を丁寧に紹介されました。

共産主義・社会主義社会をマルクスのアソシエーション概念にそって理解することの重要性と、それをめぐってこれまで定説とされてきた「分配論」的理説や、「段階論」的理解の是正の重要性を指摘しました。

討論の中では、共産主義・社会主義社会の理解の軸は、その主体が「結合した（アソシエー

理論家の文章は大変分かりやすい、ぜひ併せて読まれるよう（『しんぶん赤旗』一月八～十日）と推奨されました。

次回の第四回定例研究会は三月二三日（日）二時から府連事務所で開催します。叶秋男「ソヴェト経済体制の性格規定とスターリン体制現出の諸要因」をテキストに、福本吉彦さんが報告を担当されます。

ここでは、「国家資本主義の定義」が述べられており、読む際に、叶氏が「ソ連が社会主義ではなく、資本主義であった」ことが、どのように論証されているかに注目するよう指摘がありました。研究会メンバーには、近く資料と案内を送ります。

（副会長 山本恒人）

大阪府連と守口支部が 太極拳新春初げいこ

一月十二日、大阪府連主催「2014新春太極拳初稽古」が北スポーツセンターで開催され、京都、和歌山、奈良など各教室から30数名が、キラキラの太極拳ウェアで二十四式太極拳や風華太極拳、太極扇などを楽しみました。

終了後、体育館前の公園で差し入れのお酒でカンパいし、新春を祝いました。（T）



守口支部新春初稽古は十三日（成人の日）に守口市民体育館

で十四教室から七七名の参加で行いました。開講式では松尾豊大阪府連理事長から挨拶、リラックスした雰囲気の中で練習が始まりました。

今回は二十四式太極拳、四八式太極拳、陳式簡化八式太極拳の三組に分かれて練習し、昼からは各組の成果発表を兼ねた表演に加え、太極功夫扇、自選剣、三二式太極拳など七種目の表演もありました。

恒例のお年玉抽選会では、多数の当選で新春をお祝いました。（N）

尖閣問題アピール署名

多くの方から賛同の署名が

昨年から取り組んでいるアピール署名に、大阪府下から多数の賛同署名が寄せられています。日中友好新聞にも掲載されますが、順次、大阪府連通信にも紹介します。

林田時夫さん（劇団きづがわ代表・演出家）「すべての紛争を平和的手段により解決し、武力または武力による威嚇に訴えないこと」との日中平和友好条約の精神に基づき、平和的外交努力、話し合いによる解決を望みます。

浅野弘樹さん（元府会議員）「私は上海で生まれ少年期を過ごしました。議員になって大阪府・上海市友好協定にも立ち会いました。両国が一日も早く友好関係を修復されるよう心から願っています。」

新庄佑三さん（合唱団員）「日本と中国の人民はともに心を結んで日本やアメリカの侵略戦争と対決してきた歴史を持ちます。その人間としての誇りを受けついで両国が理性的な話し合いを通じて問題の解決を図られるようお願いいたします。」

小林徳子さん（大阪平和委員会副会長、元大阪府会議員）「日本と中国の国民は永遠の朋友です。両国政府の平和的な話し合いで必ず解決できると信じています。共に」

新年号祝賀広告

ありがとうございます

日中新聞新年号への祝賀広告に、二八団体からご協力をいただきました。たいへんありがとうございます。年二回、大会記念と新年号に各団体へお願いしています。引き続きよろしく願います。